



「楽しい空」 (佐久バルーンフェスティバルフォトコンテスト2024 榎藤薫さんの入選作品)  
(佐久市 提供)



第 641 号

## 「学びたいを実現する学校教育に」

佐久市教育長 神津 長生



日頃より、犯罪・非行からの立ち直りを献身的に支えてくださる保護司の皆様へ、心より敬意と感謝を申し上げます。

長年学校現場で教員として勤務した私にとって、教頭として赴任した小学校での六年生A君との出会いは今も忘れられません。肩をそり落とし教員に悪態をつき、仲間を引き連れては教室を抜け出し、迷惑行為を重ねる彼を追い回す毎日でした。ある日、夏を控え校舎にへブンリーブルー(ヒルガオの一種)の遮光カーテンを育てるため、校舎の前の畑を小さな耕運機で耕していると、「俺にもやらせろ」と彼の方から近付いてきました。「一瞬躊躇いましたが、思い切ってハンドルを握らせると、彼は夢中になって土を耕し始めました。「機械が好きなの?」と尋ねると、「ああ、バイクとか機械とか」との返事。

その日からというもの、耕運機に魅了された彼は土を耕し肥しを施し、ついに八月には三階にまで届く見事な青いカーテンを作り上げました。おかげで多くの学級が夏を涼しく過ごすことができたのです。彼の活躍に、校長が特別に作ってくれた感謝状を「そんなものいらねえ」と言いながらも、照れくさそうに受け取ってくれた姿が目には焼き付いています。A君の彼の行動はその後変わる

ことはありませんでしたが、今振り返れば彼の行動は、個人の「好き」を諦めさせ、嫌いな勉強を無理強いして大量の知識を詰め込み、学校に足が向かなくなつた子どもを大量に生み出してしまつていた当時の学校や社会に対する純粋な抵抗であつたように思えてなりません。

それから約二〇年が経ちました。この間、社会は大きく変化し、創造時代とも超スマート社会とも称される Society 5.0に突入しています。変化著しいVUCAの時代を生きる子どもたちに求められる学力観も、大きく変わろうとしています。それは、獲得した知識や技術の量だけではなく、それらをうまく使いこなし、自ら問いを持ち、仲間と協働しながら最適解を導き出していくことのできる能力です。今ようやく学校教育も、新しい学力観に基づいた教育への転換を図ろうと挑戦を始めました。人は誰もが学びたい、自分の可能性を伸ばしたいと願っていると思います。学校は、その可能性と願いを実現できる場であり続けなければなりません。A君が今の時代に学校生活を送っていたとしたら、機械好きな仲間たちと存分に機械いじりに没頭し、学ぶことを楽しめていたかもしれません。

今後、私は校長先生方や保護者・地域の皆様と共に、一人ひとりの「好き」や「興味」を尊重し、多様な子どもを包み込む新しい学びの場としての学校づくり尽力し、「誰一人として取り残さない教育」の実現に向け力を注いでまいります。

結びに、皆様の健康と、保護司活動のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

## 更生保護行政と警察行政は車の両輪

佐久地区保護司 浅川 金夫

未曾有の大災害となった東日本大震災：全国から多くの警察官が応援派遣され、被災者・行方不明者の捜索・救助等に当たっていた発災直後の年度末、三七年間勤務した長野県警察を退職しました。

そして、定年まもなく、地域の先輩保護司さん数人から再三の依頼を受け、その二年後から皆さんの仲間入りをさせていただきました。

個人の生命・身体・財産の保護に任じ犯罪等の予防・犯人の逮捕・検挙等を図る警察行政。

一方、罪を犯した者の立ち直り・更生を図り、犯罪等を防止して明るい社会を実現する更生保護行政：。犯罪の約半数が再犯者による現状を鑑みると、再犯をなくすことにより犯罪を減らすことに繋がることから、更生保護行政と警察行政は、まさに、車の両輪であろうと思います。

深まる秋、感傷的になるこの季節を迎え、これまで歩んできた様々な出来事が脳裏に浮かびます。

”若い情熱と希望を胸に、歴史と伝統ある長野県警察の門を潜り二三年の春から始まった警察官人生。

刑事課、刑事二課時代を経て取り扱った数万件の各種事案等々。困難、試練に直面しながら県民安全・安

心を守るため奮闘努力した日々：“

そんな現職時代の功績が認められ今春、治安維持功労で危険業務従事者叙勲の栄に浴しました。これには職場の上司・同僚はじめ、多くの関係者、何より二人三脚で共に歩んできた妻や家族の理解、支えがあったればこそと、感謝しています。

また保護司会の皆さんには、更生保護と関係のない分野での受章にも関わらず、花束贈呈や有志祝賀会等の心遣いに、大変感激しています。

この関係では、県庁講堂での勲章伝達式の後、皇居宮殿での天皇陛下拝調式に夫婦で参加しました。

当日は警察庁のほか法務省の皆さんも拝調したので、中には顕彰された多くの保護司の皆さんも一緒だったと思います。更生保護功労での受章は、無償の崇高な精神による永年にわたる社会貢献功績という点で、極めて尊いと感じます。

「宿命に生まれ運命に挑み使命に燃ゆ」：これは自分と重ね合わせ信条としてきた言葉の一つですが、警察官人生もその後の保護司就任も、必然のこととして「両輪」の双方に関わり、微力ながら、地域住民のため社会のために、多少なりとも尽くせたことを今、誇りに思っています。

「希望に目覚め努力に生き感謝に眠る」保護司任期満了まであと二年余りとなりましたが、残された期間、

与えられた使命を精一杯果たしていきたいと決意を新たにしています。

## 薬物事犯の彼が家族を築くまで

佐久地区保護司 市川 記夫

四号観察で五年、しつかり対応しなければと、でも変わり行く姿がとも感じられた思い出深い事例でした。彼が三歳の時に両親が離婚、高校卒業後はアルバイト生活中心、友人の誘いに断り切れずに大麻へ、執行猶予五年保護観察付、面接が始まりました。関係した仲間達と繋がりを断つため携帯番号、住所も移し母とアパート生活へ、正社員雇用とハローワークに通い決めた。行動力を感じた。仕事が長続きできる様同僚や上司への接し方をアドバイス、スマホの得意な彼からメール・ラインなど教えてもらい対話を増した。結婚を考えている彼女の実家へどうお願いに行ったら？私の経験を話し励ました。「結納に：うまく挨拶ができて、決まりました！もう馬鹿なことではない」と力強く言う彼に成長を感じた。往訪時に奥さんと良く話して、生活力や考え方で協力が得られると思つた。パート先も決まり今後のために貯金すると言う二人に「もう大丈夫だ」と思つた。子供が来年二月に生まれます。産休中の奥さん

に家で作つた野菜などを時々持つて様子を見るに、私も孫ができる様な気持ちになりワクワクした。女の子が生まれたが、アパートは狭く育児は大変でもう少し我慢して貯金すると、保護観察が終わる少し前に「家を持ちたい！返済が大変だから、中古物件でもと考えている。そんな時、私が保育園にも近く値段も適当な物件見付け三人で見学に、リフォーム済、広い！観察終了の一月前に引越し長女二才の誕生日を兼ねお祝いをし「これからも近所のおじさんとして相談してね！」と一年後長男が生まれ四人の生活に、今もラインで子供達の成長の姿を送ってもらい、取れ過ぎた野菜を届けながら楽しく見守っています。

一、人生の目標を持つ

二、他人の考えを変えるより、自分の考え方を変えると、行動が変わる！今の自分を受入れると面接で言ってきた事が繋がったと思えた事例です。

私も彼らに負けないよう、百名山丸〇座、テニス、ゴルフ、頑張らなければ。

## 第75回 “社会を明るくする運動” 作文コンテスト

第75回 “社会を明るくする運動” 長野県作文コンテスト（長野県推進委員会）において、次の皆様方が入賞されました。誠におめでとうございます。

長野

### 第75回 “社会を明るくする運動” 長野県作文コンテスト(長野県推進委員会)

#### (小学校の部)

##### ○最優秀賞

“社会を明るくする運動”長野県推進委員会委員長賞

おたがうれしい笑顔あふれる社会

諏訪市立豊田小学校 5年 茶木 歩果

長野保護観察所長賞

犯罪を無くすには

小谷村立小谷小学校 5年 細野 太陽

長野県保護司会連合会長賞

知って変わること

箕輪町立箕輪中部小学校 6年 橋爪 煌弥

##### ○優秀賞

更生保護法人長野県保護観察協会理事長賞

保護司になったら

下諏訪町立下諏訪北小学校 6年 若木 風李

長野県更生保護女性連盟会長賞

悪いことをしてもずっと悪者じゃない

塩尻市立吉田小学校 6年 春日 志音

長野県BBS連盟会長賞

だれもがかけがえのない存在である社会に

下條村立下條小学校 6年 串原 陽菜

特定非営利活動法人長野県就労支援事業者機構会長賞

人と違うことが僕らしさ

長野市立松代小学校 6年 中嶋 聖太

長野県作文コンテスト審査会委員長特別賞

一緒に過ごすのが一番

松川町立松川中央小学校 5年 清水 葵

言葉とは相手を考え発するもの

諏訪市立豊田小学校 6年 塩原 慎仁

#### (中学校の部)

##### ○最優秀賞

“社会を明るくする運動”長野県推進委員会委員長賞

今日を明るく過ごすために

東御市立東部中学校 2年 堀内 夏葉

長野保護観察所長賞

心を寄せること

松本市立丸ノ内中学校 1年 赤星 璃緒

長野県保護司会連合会長賞

一人も取り残さない社会へ

安曇野市立堀金中学校 3年 百瀬 陽菜

##### ○優秀賞

更生保護法人長野県保護観察協会理事長賞

偏見やイメージを変えて

南箕輪村立南箕輪中学校 3年 白鳥 夢乃

長野県更生保護女性連盟会長賞

社会を明るくするには

木曾町立日義中学校 3年 越取 賢司

長野県BBS連盟会長賞

「無関心」からの

木島平村立木島平中学校 2年 内藤 巳琴

特定非営利活動法人長野県就労支援事業者機構会長賞

弟に教えられたこと

安曇野市立豊科北中学校 3年 内藤 咲

長野県作文コンテスト審査会委員長特別賞

幸せのバトン

須坂市立墨坂中学校 3年 内堀 桃

もう一度がある社会へ

松本市立鎌田中学校 3年 南波 歩莉

謹んで新年のお慶びを申し上げます  
令和八年 元旦



- 長野保護観察所 所長 大谷 治子
- 更生保護法人長野県保護観察協会 理事長 林 泰章
- 長野県保護司会連合会 会長 山 元 秀 泰
- 長野県更生保護女性連盟 会長 細 田 あや子
- 長野県BBS連盟 会長 八 幡 正 剛
- 特定非営利活動法人 長野県就労支援事業者機構 会長 高 木 正 雄
- 更生保護法人長野司法厚生協会 理事長 眞 田 清 史
- 更生保護法人松本保護会 理事長 白 馬 義 文
- 長野県更生保護事業仏教協力会 会長 小 林 聖 仁

更生保護女性の集い

一月二二日、長野市のホテル国際21において、第二六回長野県更生保護女性の集いが開催され、県内各地から約二〇〇名の会員が参加されました。顕彰式の後、関東地方更生保護委員会の田島佳代子事務局長から「これからの更生保護女性会」と題する講演が催され、大変具体的でわかりやすい内容だったと好評で、充足したひとときを過ごしました。

県観察協会理事・評議員会役員等研修会

一月五日、長野市のホテル国際21において、長野県保護観察協会の理事会・評議員会が開催され、基本財産預け替えに伴う定款変更等が承認され、引き続き観察協会から更生保護団体への助成金贈呈式が催されました。第二部では、役員等研修会が開催され、長野保護観察所の大谷治子所長から「更生保護のこれから」と題する講演が行われました。



保護司退任式

一月二八日、長野保護観察所において、保護司退任式が開催されました。長野保護観察所長及び長野県保護司会連合会長から長年の労をねぎらう挨拶があり、法務大臣感謝状・功労章の記の伝達がなされました。長い間保護司活動に御尽力いただきありがとうございました。



保護司の異動(敬称略)

◆退任保護司  
(令和七年十二月三十一日付け)  
北 原 通 江(上伊那)  
小 松 京 子(上伊那)  
大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。

新任保護司辞令伝達式・研修

二月一日、長野保護観察所において、同日付け新任保護司に対する辞令伝達式及び研修会が開催されました。総勢四六名という大勢の皆様が新たに保護司のお仲間に入っていたくださしました。どうぞよろしくお願いいたします。



叙位(敬称略)

永年にわたり更生保護事業に尽力され、多大な御功績がありました左記の方に対し、叙位の御沙汰がありました。生前の御功績を偲び、この榮譽を称えたいと存じます。

- 故 中 原 元一郎(松本)  
(令和七年九月二日付け)
- 故 高野尾 宏 子(松本)  
(令和七年一月六日付け)

一月の行事予定

- 五日(月) 仕事始め
- 社明作文コンテスト表彰式 (ホテル国際21)
- 一七日(土) 須高社明作文コンテスト表彰式
- 二〇日(火) 上田地区更生保護女性会講演会
- 二二日(水) 岡谷地区社明作文コンテスト表彰式
- 二二日(木) 安曇野地区保護司会第三期定期研修会
- 二三日(金) 東信ブロック保護司会代表者協議会
- 岡谷地区保護司会第三期定期研修会

一月の定期駐在

保護区	観察官	実施日	駐在場所
上伊那	條野	一九日(月)	いなっせ
安曇野	宮下	二三日(金)	安曇野地区更生保護サポーターセンター
岡 谷	佐藤	二三日(金)	岡谷地区更生保護サポーターセンター

編集後記

神津教育長と一緒にへブンリーブルーを見事に育てたA君は、二〇年たつてどういう大人になっているのだろうか、好きなバイクや機械の関係の仕事をしているのだろうか・・・落ち着いて生活していることを願うばかりです。

今の時代なら、A君は学校でのびのびと学び、得意分野で活躍し、多くの友達と笑顔で過ごしていたかもしれません。ただ、社会環境、家庭環境、性格など、子どもの成長にかかわる要素は多く、それぞれに絡み合い、その結果としての影響は複雑でしょう。さらに、世界に目を向ければ戦争、民族紛争、飢餓、民衆抑圧など、国内では少子高齢化、低経済成長など、解決が困難な問題・課題が山積しています。A君のような子どもも、学校で個性を伸ばし卒業してからは、変動が激しく、未来が見えにくい不安定な社会で暮らしていくかなくてはなりません。

A君よりも社会で長く過ごしている私は、神津さんがA君に目を向け、同じ目的に向かつて共に時を過ごしたように、周りの後世の人たちに寄り添っていきたいと思っています。その人たちはこの社会をもっと良くしていかれると信じています。「夢」「希望」はへブンリーブルーの花言葉だそうです。

(東信地区編集委員 三島 勇)